

# 当行（単体ベース）の営業の概況

## 2023年9月中間期の営業の概況（2023年4月1日～2023年9月30日）

当中間期のわが国経済は、物価上昇や海外経済の先行き懸念などの景気の下押し要因もありましたが、企業の設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しなどにより、景気は回復しつつあります。

地元香川県におきましても、設備投資が増加し、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも着実に持ち直しの動きをみせるなど、景気は緩やかに回復しました。

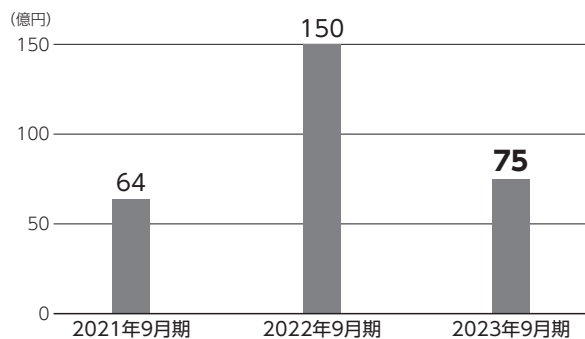
このような経済環境のなか、当中間期の業績等は次のとおりとなりました。

### コア業務純益（除く投資信託解約損益）

コア業務純益（除く投資信託解約損益）\*は、金融派生商品関係損益及び外国為替売買益を含むその他業務利益\*の減少などにより、前年同期比75億円減少して75億円となりました。

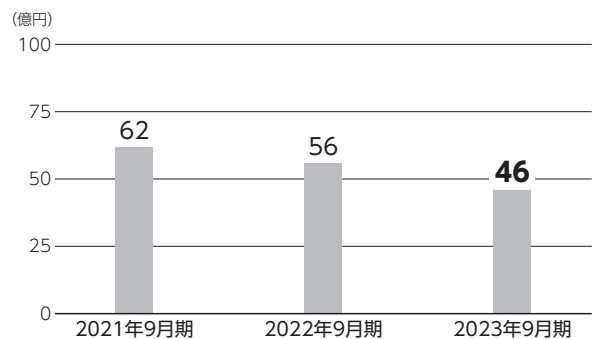
\*コア業務純益（除く投資信託解約損益）とは  
銀行の本来業務からの利益を表す指標

※債券関係損益を除く



### 中間純利益

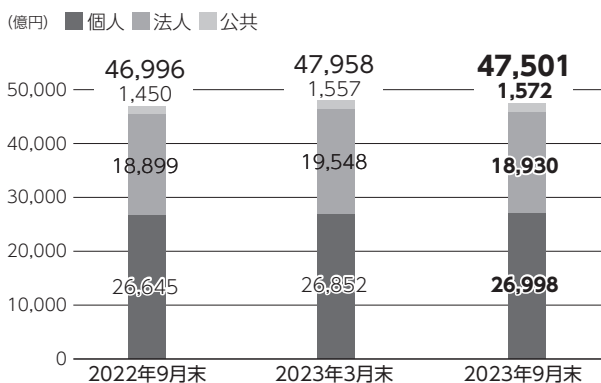
中間純利益は、債券関係損益が改善しましたが、コア業務純益（除く投資信託解約損益）及び株式等関係損益の減少などにより、前年同期比10億円減少して46億円となりました。



### 総預金・貸出金の残高推移

#### ●総預金（預金+譲渡性預金）

当中間期末の総預金残高は、個人及び公共預金は増加しましたが、法人預金が減少したことにより、前期末比457億円減少して4兆7,501億円となりました。



#### ●貸出金

当中間期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前期末比590億円増加して3兆4,258億円となりました。

